

平成26年度 地域生活支援ワーカー（地域福祉コーディネーター） リーダー研修会 開催要綱

1. テーマ 住民と協働する個別支援ワーカーの役割と活動実践の視点、リーダー養成

2. ねらい

地域の福祉・生活課題が多様化し潜在化する中で、住民同士がお互いの困り事に気づき、ともに助け合う地域社会の実現が求められています。そのためには、住民と協働して支援を必要とする人に気づき、支援について調整し、あるいは新たな仕組みづくりや地域社会への問題提起等に取り組むワーカーの存在が不可欠です。

今、社協では深刻な生活課題や社会的孤立への対応をめざす「社協・生活支援活動強化方針」の具体化に取り組んでいますが、平成27年度より施行される生活困窮者自立支援制度や介護保険制度見直しによる総合事業を進める中で、総合相談・生活支援体制の強化とそれを担うワーカーの力量を高めることが一層求められています。

そこで本研修会は、ワーカーの役割を再確認し、住民との協働による福祉・生活課題への気づき、ケースの発見、そして支援の構想における基本的な視点について、講義や事例解説等から学び、ワーカーとしての力量の向上や各地域において学びの機会を増やすリーダー養成を目的に開催します。

3. 主催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

4. 日時 平成27年2月5日(木)～2月6日(金)

5. 会場 全国社会福祉協議会 5階会議室

6. 対象
- 住民と協働して個別支援に取り組む社協職員
(コミュニティソーシャルワーカー、コミュニティワーカー、地区担当職員等)
 - 安心生活創造推進事業、地域福祉活性化事業等受託社協の担当職員
 - 都道府県・指定都市社会福祉協議会職員

7. 定員 80名 (先着順/定員になり次第、締切とさせていただきます)

8. 参加費 5,000円

9. 事前・事後課題

- ① **市区町村社協**からご参加の方には、事前課題があります。詳細は、別添の「事前課題について」をご覧ください。
- ② **都道府県社協**からご参加の方には、研修会後に課題への取り組みをお願いします。
- ③ **指定都市社協**からご参加の方は、担当業務に応じて、①か②を選択してください。

※各課題の様式データを全社協のホームページ（<http://www.zcwvc.net/>）に掲載を予定しております。ご利用ください。

10. 内 容

【1日目／2月5日(木)】

13:30～13:40	開会・挨拶・オリエンテーション
13:40～14:10	基調説明「地域福祉をめぐる動向と地域生活支援ワーカー（地域福祉コーディネーター）への期待」 （30分） 全国社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉をめぐる施策の動向や社協等における地域生活支援の取り組みなどを知る。
14:10～15:30	講義 1 「地域生活支援ワーカー（地域福祉コーディネーター）の役割」 （80分） 講師 同志社大学社会学部 教授 上野谷 加代子 氏 住民と協働による個別支援が求められる社会的背景やその現状、地域の実情、住民と協働する個別支援ワーカーの役割等、基本について学ぶ。
15:30～15:45	休憩 （15分）
15:45～17:15	講義 2 「豊中市におけるコミュニティソーシャルワーカー（CSW）の位置づけと役割」 （90分） 講師 豊中市社会福祉協議会 事務局次長 勝部 麗子 氏 豊中市社協におけるコミュニティソーシャルワーカーとしての実践を通じて、住民と協働する個別支援ワーカーの役割や内容を理解する。また、生活困窮者自立支援制度への取り組みもふまえ、これからの社協の総合相談・生活支援のあり方を考える。
17:30～	情報交換会

【2日目／2月6日(金)】

9:00～11:00	セッション 第 1 部「住民との協働によるニーズの発見と共有を考える」 （120分） ファシリテーター 同志社大学社会学部 准教授 野村 裕美 氏 助言者 豊中市社会福祉協議会 事務局次長 勝部 麗子 氏 実際の相談事例等を用いて、住民と協働する個別支援ワーカーは、住民との関わりの中で「ニーズの発見」や「ニーズの共有」をどのようにすすめていくのか。その基盤となる地域への働きかけ、地域づくりの視点を、セッションや参加者同士のディスカッションのなかで学ぶ。	選 択 講 義 「地域生活支援ワーカー等の養成にかかる都道府県・指定都市社協の役割」 （120分） 指 導 同志社大学社会学部 教授 上野谷 加代子 氏 実践報告 滋賀県社会福祉協議会 地域福祉部長 谷口 郁美 氏 平成 27 年度より生活困窮者自立支援法や介護保険制度見直しによる総合事業などがスタートし、地域におけるワーカーの役割が一層期待されるなか、都道府県・指定都市社協として、県内の市区町村社協の職員養成をどのように実施していくか、必要な視点について実践報告をもとに学ぶ。（※選択講義への参加は、都道府県・指定都市社協からご参加の方に限ります。）
------------	--	--

<p>11:00～14:00 (途中昼食・休憩 60分をはさみま す)</p>	<p>セッション 第2部「ニーズの見立て方、支援の構想の仕方を考える」(120分)</p> <p>ファシリテーター 同志社大学社会学部 准教授 野村裕美氏 助言者 同志社大学社会学部 教授 上野谷加代子氏 豊中市社会福祉協議会 事務局次長 勝部麗子氏</p> <p>実際の相談事例等を用いて、相談内容(支援ニーズ)における住民との協働の必要性の見立て、協働に必要な情報収集や関係者への働きかけ等、住民との協働による個別援助を構想していくための思考や行動方法について、セッションや参加者同士のディスカッションのなかで学ぶ。</p>
<p>14:00～14:15</p>	<p>休憩(15分)</p>
<p>14:15～15:15</p>	<p>研修会の振り返り・まとめ(60分)</p> <p>助言者 同志社大学社会学部 教授 上野谷加代子氏 豊中市社会福祉協議会 事務局次長 勝部麗子氏</p> <p>進行 全国社会福祉協議会 地域福祉部</p> <p>グループ討議と助言者との意見交換によって、研修を通じて、受講者が気づいたこと、学んだことを全体で共有する。</p>
<p>15:15～15:30</p>	<p>開会</p>

11. 参加の申込にあたって

- ① 2日目の午前中は「セッション第1部」と「選択講義」に分かれます。
- ② 「選択講義」への参加をご希望の方は「参加申込書」の【選択講義申込】欄に✓をつけたうえでお申込みください。
- ③ 「選択講義」へのご参加は、都道府県・指定都市社協からご参加の方に限ります。
- ④ 別添の参加・宿泊・昼食申込書により、名鉄観光サービス(株)新霞が関支店宛にお申し込みください。折り返し同社より参加券および参加費の振込依頼書等をお届けします。

12. 昼食 1,100円(弁当／お茶付き・税込) ※希望者のみ

13. 情報交換会参加費 500円 ※希望者のみ

14. 申込締切 平成27年1月26日(月) [定員になり次第、締切とさせていただきます]

※ 事前課題の提出期限も1月26日(月)です。

※ 参加申込と事前課題の提出は別のものであり、同時である必要はありません。

※ 事前課題の提出期限は1/26ですが、それよりも前に定員に達した場合は締切とさせていただきますので、参加をご希望される方は先に参加申込をお済ませください。

15. 個人情報の取り扱い

本研修につきましては、個人情報保護における取扱契約を「名鉄観光サービス(株)新霞が関支店」と交わしたうえで、同社に上記の業務を委託しております。「参加・昼食・宿泊申込書」に記載された個人情報は、運営管理の目的のみ利用させていただきます。なお、本研修会の資料に参加者の氏名・所属・役職を掲載いたします。

16. 研修内容に関するお問い合わせ先

全国社会福祉協議会地域福祉部 担当：高橋、仁木、佐川

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-4655 FAX 03-3581-7858

Eメール：z-chiiki@shakyo.or.jp

※参加等の申込・参加券の送付・参加費の支払いについては、別紙の「参加・昼食・宿泊のご案内」をご覧ください。なお、名鉄観光サービス新霞が関支店にお問い合わせください。

17. 会場のご案内

全国社会福祉協議会 5階会議室

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

